

大野城市共働事業提案制度 事業評価及び意見集約表

事業名：リハビリ職員による訪問事業！健康寿命延伸プロジェクト

実行委員会名：リハビリ職員による訪問事業実行委員会

評価項目		評価点	評価	推進委員意見
共働の必要性	市民への効果	18.6点 / 25点	B	・市民ニーズは非常に高く、公的サービスのすき間を埋める事業として、より多くの人にサービスを提供する必要がある。 ・訪問のケースが少ないのが気になる。一方で施設へのアプローチはできており、一定の成果はみられる。今後は件数を増やして実績を積み上げてほしい。
	共働の相乗効果	18.0点 / 25点	B	・それぞれの強み・弱みを補完し、対象者への適切なサービスとなる仕組みであると理解できるが、令和3年度の活動においては、件数が少なく、相乗効果を測ることは難しい。一方、ケアマネとの訪問など今までにないアプローチは見えている。 ・ネットワークづくりが課題であり、専門職が集まる場面を活用し周知に努めてほしい。
	共働事業の実施過程	17.6点 / 25点	B	・コロナの影響により、介入できる件数(対象者数)が限定されるのはやむを得ないが、実績が少ないのが残念である。 ・相互にコミュニケーションをとりながら、今後の展開をふまえ、コロナ禍の状況下に対応した方法について工夫しながら実績を積み上げ、事業を拡充してほしい。
事業の実現性	目的・目標の達成度	17.6点 / 25点	B	・実績が少ない分、今後増加した時の体制づくりに課題を感じる。モデル事業開発と並行し、周知活動にも力を入れることで、担い手の確保に期待したい。 ・訪問が難しいようであれば、通所事業や専門家のネットワーク形成に力点を移してはどうか。
	※事業の発展性 (波及効果)	0.0点 / 10点	/	・訪問事業のケースが少なく、マニュアル化できるのか、やや疑問が残る。
	※事業の再現性 (スキームの確立)	0.6点 / 10点	/	・リハビリ専門家のネットワーク形成によって、同種の取組を広げることができると思われるので、今後の取組に期待したい。
総括		72.4点 / 120点	B	

※項目は、加点項目